

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度選定

石川県白山市

2021年9月

**SDGs未来都市計画名**

白山市SDGs未来都市計画「白山の恵みを次世代に贈る「白山市SDGs未来都市ビジョン」

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

白山市SDGs未来都市計画「白山の恵みを次世代に贈る「白山市SDGs未来都市2030ビジョン」

## (2) 2030年のあるべき姿

白山の歴史・文化と豊かな自然環境の恩恵を、全ての市民が実感し、白山ユネスコエコパーク及び白山手取川ジオパークの理念に基づいて、経済発展や豊かな生活の成果を白山市に還元するサイクルの確立を目指す。

## (3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール

| 経済   | 社会   | 環境   |
|--|--|--|
| <br>4 質の高い教育を<br>みんなに | <br>5 ジェンダー平等を<br>実現しよう | <br>8 働きがいも<br>経済成長も      |
| <br>4 質の高い教育を<br>みんなに | <br>5 ジェンダー平等を<br>実現しよう | <br>11 住み続けられる<br>まちづくりを  |
|  |  | <br>13 気候変動に<br>具体的な対策を |
|  |  | <br>15 陸の豊かさも<br>守ろう    |

## (4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

| No | 指標名<br>※[]内はゴール・ターゲット番号                                     | 当初値                  | 2020年（現状値）      | 2030年（目標値）     | 達成度<br>（%） |
|----|---|----------------------|-----------------|----------------|------------|
| 1  | 「白山ソサエティ」への進出・参画企業数【8.2, 8.5】                               | 2018年7月<br>0 社       | 2020年<br>7 社    | 2030年<br>50 社  | 14%        |
| 2  | 「白山ソサエティ」進出・参画企業数が雇用または事業を委託する白山市在住の女性の人数【4.4, 5.b】         | 2018年7月<br>0 社       | 2020年<br>0 社    | 2030年<br>500 人 | 0%         |
| 3  | 子供、女性、高齢者、障害者、介護者等が自治運営に参画し、企業と社会課題を解決するソリューション件数【4.3, 4.7】 | 2018年7月<br>0 件       | 2020年<br>0 件    | 2020年<br>20 件  | 0%         |
| 4  | 「白山ソサエティ」における子育て支援事業の利用件数【5.c, 11.a】                        | 2018年7月<br>0 件       | 2020年<br>0 件    | 2030年<br>50 件  | 0%         |
| 5  | ITやAI、ロボット技術を活用した生態系の保全活動の市民参画数【15.4】                       | 2017年1～12月<br>0 人    | 2020年<br>0 人    | 2030年<br>100 人 | 0%         |
| 6  | 鳥獣による農作物被害額【15.4】   | 2017年1～12月<br>412 万円 | 2020年<br>592 万円 | 2030年<br>50 万円 | -50%       |
| 7  | 収集したデータ活用による自然災害未然防止件数【13.1, 15.2】                          | 2018年7月<br>0 件       | 2020年<br>0 件    | 2030年<br>10 件  | 0%         |

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

多くの指標で実績がない状況だが、「白山ソサエティ」への進出・参画企業数については、金沢工業大学のネットワークを通じて参画企業を増やしているが、単発事業での参画のみであり、今後、継続して参画してもらう仕組みづくりを研究していく。また、「白山ソサエティ」への参画企業や、「白山手取川流域SDGs認定制度」を通じて、本市SDGs未来都市計画に賛同し、地域の課題等を連携して取り組む企業等を増やすことで、企業等と連携し、それぞれの指標の達成に向けて進めていくこととしており、今後、産学官民が連携して取り組みやすい環境づくりが必要となる。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

| No | 取組名        | 指標名   | 当初値        | 2018年実績  | 2019年実績  | 2020年実績   | 2020年目標値  | 達成度(%) |
|----|------------|---|------------|----------|----------|-----------|-----------|--------|
| 1  | 白山ソサエティの創出 | 「白山ソサエティ」への進出・参画企業数                         | 2018年7月 0社 | 2018年 0社 | 2019年 5社 | 2020年 7社  | 2020年 10社 | 70%    |
| 2  | 産学官民の共創    | 子供、女性、高齢者、障害者、介護者等が自治運営に参画し、企業等と社会課題に取り組む件数 | 2018年7月 0件 | 2018年 0件 | 2019年 5件 | 2020年 10件 | 2020年 10件 | 100%   |
| 3  | 女性の社会進出の礎  | データ活用学習の女性の受講人数                             | 2018年7月 0人 | 2018年 1人 | 2019年 9人 | 2020年 35人 | 2020年 50人 | 70%    |

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

金沢工業大学SDGs推進センターと連携し、創設した白山手取川流域SDGs認定制度の取組により、本市を含む圏域の中でSDGsの本質を理解し事業を進めたい人や企業が集まり、SDGs推進の取組を協働で実践しやすい環境として注目され、さらに人や企業が増えていくことで好循環を生み出す。こうした仕組みを将来的には自走できる仕組みへと発展していけるよう、企業版ふるさと納税や企業寄付等の積極的な受け入れ、認定制度の取り組みによって創出された新たな事業の利益還元等による事務局運営の財源確保についても、実現可能性の見極めを行っていく。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

「白山ソサエティ」への進出・参画企業数については、目標値を達成できていないものの、コロナ禍をチャンスに捉えて参画企業を増やしていく。「産学官民の共創」では、山間部の一つの集落を、行政と大学と企業と連携しながら、意欲的に市民が社会課題に解決に取り組む成功事例の地となることを目指していく。「女性の社会進出」については、本市の豊かな自然や文化を愛し、市内外にSNSなどを活用して上手に情報発信ができる人材の育成に現在努めている。提案時のモデル事業の推進状況については、SNSを活用したデータ活用学習および地域デザイン・SDGsビジネスセミナーを開催し、女性を含めて様々な人が山間部での活動につなげる取り組みを進めている。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

- ・女性の社会進出や協働事業は件数は着実に増加傾向にある点は高く評価できる。
- ・金沢工業大学との連携は早期に様々な取り組みを推進する方策として重要である。このような取り組みを中長期的なものとするよう、市側と大学との連携体制を確立し、持続的赤津広範な取り組みとなるよう、検討が必要と思料する。
- ・SDGs計画中心は白山ソサエティへの企業参加数を増やし、その企業とともに、自治体、市民がSDGsの具体的な事業を組成し、地域課題を解決するという体系にある。コロナがあったにせよ、2018年度選定であることを踏まえると、計画が推進できているとは言い難い。自治体の推進体制の見直しや参加促進、事業組成戦略の見直しが必要である。